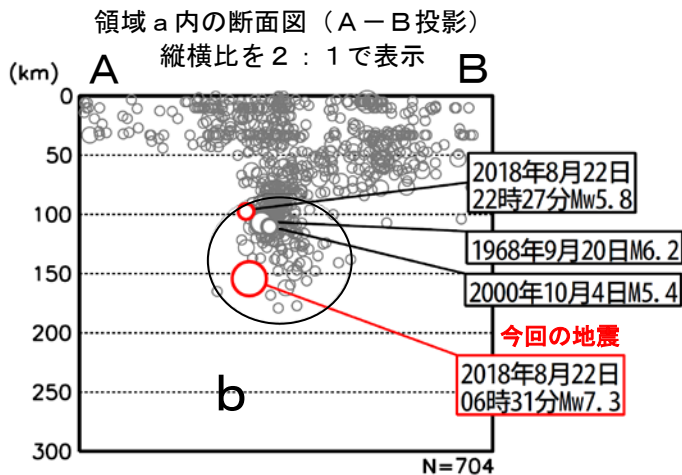
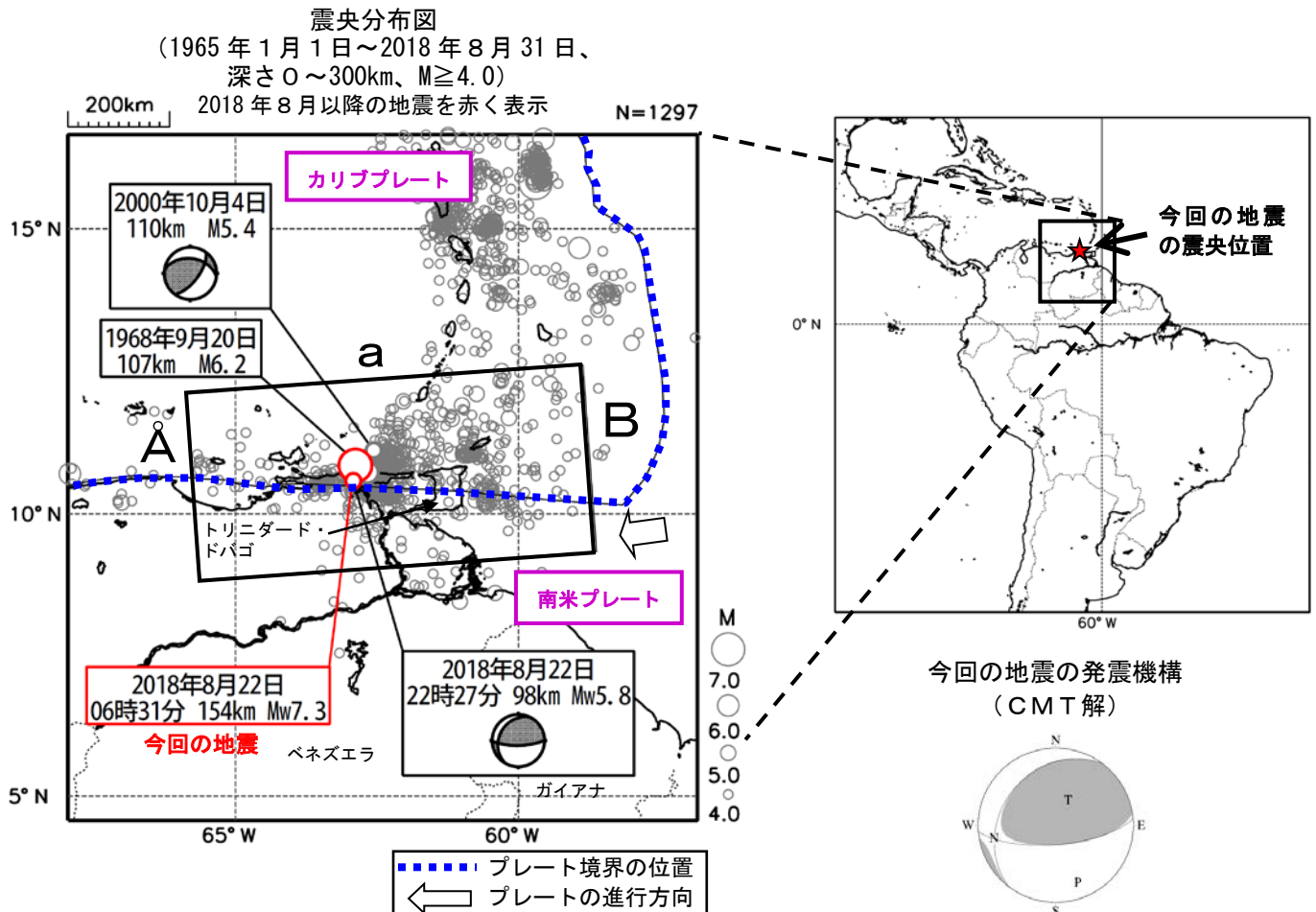


8月22日 ベネズエラ沿岸の地震

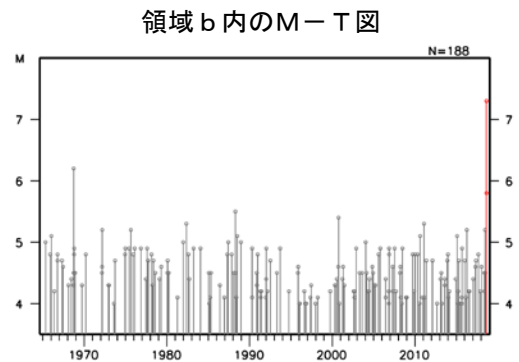
2018年8月22日06時31分(日本時間、以下同じ)にベネズエラ沿岸の深さ154kmでMw7.3の地震が発生した。この付近には南米プレートとカリブプレートの境界があり、この地震は沈み込む南米プレートの内部で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日07時01分に遠地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震の発生以降、同日22時27分にMw5.8の地震が発生した。

1965年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は時々発生しているものの、M7.0を超える地震は今回が初めてである。



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1965年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.